

| ITスペシャリスト | | 研修コース群 | | |
|------------------|-------------|---|--------|--|
| 職種共通スキル項目 | 専門分野固有スキル項目 | 知識項目 | 研修コース名 | 分散 システム の 構築 ・ テ ィ ン グ |
| インダストリ | | インダストリ知識 ・インダストリ共通アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリ固有アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリビジネス動向、技術動向、競合状況の把握 ・インダストリ用語、関連法規の把握と活用 ・インダストリ別事業環境の把握と活用 ・インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用 ・インダストリ固有業務内容の把握と活用 | | |
| インダストリ固有業務システム構築 | | インダストリ知識 ・インダストリ共通アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリ固有アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリビジネス動向、技術動向、競合状況の把握 ・インダストリ用語、関連法規の把握と活用 ・インダストリ別事業環境の把握と活用 ・インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用 ・インダストリ固有業務内容の把握と活用 | | |
| インダストリ固有業務システム構築 | | 業務パッケージ内容 ・業務パッケージ内容、業務パッケージの特性の把握と活用 | | |
| 業務分析 | | 情報化と経営 ・情報戦略 ・企業会計 ・経営工学 ・エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用 ・関連法規の理解と遵守 | | |
| コストマネジメント | | 資源計画 ・資源計画の検討と策定 ・代替案の定義 | | |
| コストマネジメント | | コスト見積 ・トップダウンコスト見積の実施 ・ボトムアップコスト見積の実施 ・見積ツールの活用と実践 ・コスト見積方法論の活用と実践 | | |
| コストマネジメント | | 予算設定 ・予算設定ツールと技術の活用と実践 ・コストベースラインの作成 | | |
| コストマネジメント | | コストコントロール ・コスト変更管理の実施 ・進捗状況評価基準の把握、実践 ・EVM(Earned value management)の活用と実践 ・コストコントロールツールの活用と実践 | | |
| コミュニケーション | | コミュニケーション(2Way) ・対話およびインタビューの実施 ・意思疎通 ・コミュニケーション手法の活用と実践 ・効果的な話し方、聞き方の実践 | | |
| コミュニケーション | | コミュニケーション(情報伝達) ・プレゼンテーション技術の活用と実践 ・公式および非公式文書の作成 ・文書表現および表現力の活用と実践 ・メディア選択 ・説得技法の活用と実践 | | |
| コミュニケーション | | コミュニケーション(情報処理) ・状況対応力の育成、実践 ・状況理解力の活用と実践 ・ミーティング運営技術の活用と実践 | | |
| コミュニケーションマネジメント | | コミュニケーション計画 ・コミュニケーション要件の把握 ・コミュニケーション技術の活用と実践 | | |
| コミュニケーションマネジメント | | 情報配布 ・コミュニケーションスキルの活用と実践 ・情報配布方法論の活用と実践 | | |
| コミュニケーションマネジメント | | 実績報告 ・進捗検証 ・予算分析 ・傾向分析 ・Earned Value分析 | | |
| コミュニケーションマネジメント | | プロジェクト完了手続 ・プロジェクト実績報告 ・プロジェクト報告書の作成 ・プロジェクトプレゼンテーションの実施 | | |
| コンサルティングの実施 | | コンサルティング技術の活用 ・仮説設定 ・データ収集 ・インタビューの実施 ・セッションの運営 ・データ分析 ・検証 ・コミュニケーションとネゴシエーションの実施 ・報告書の作成 | | |
| コンサルティングの実施 | | 顧客リレーション ・顧客リレーションの確立、維持 | | |
| コンサルティングメソッドの活用 | | コンサルティングメソッドの選択と活用 ・コンサルティングメソッドの比較と分析 ・コンサルティングメソッドの選定と適用 ・プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成 ・コンサルティング技術の適用 ・分析ツールとモデルの理解と活用 ・事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル | | |
| コンサルティングメソッドの活用 | | プロジェクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル ・経験カーブ ・SWOT分析 ・7Sモデル ・マイケル・ポーターの5 Forcesモデル ・バリュチェーン分析 ・その他 | | |
| スコープマネジメント | | プロジェクト開始 ・プロジェクト憲章の策定 ・プロジェクトマネージャの選定と任命 ・制約条件、前提条件の把握 | | |
| スコープマネジメント | | スコープ計画 ・スコープ記述書の策定 ・スコープマネジメント計画書の策定 | | |
| スコープマネジメント | | スコープ定義 ・WBSの作成 | | |
| スコープマネジメント | | スコープ検証 ・スコープ変更管理 | | |
| スコープマネジメント | | スコープ変更 ・ベースライン文書の改訂 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | セキュリティとプライバシー ・セキュリティ対策(機密保護、改ざん防止対応、不正侵入、コンピュータウイルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング) ・プライバシー保護 ・リスク管理 ・ガイドラインと関連法規 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | テスト技法 ・テストケース設計 ・仕様決定 ・テスト環境設定 ・管理 ・テストデータ準備 ・テストツールの活用 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | プログラミング技術 ・各種プログラミング言語技術の活用と実践 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 開発支援ツール ・開発環境 ・各種アプリケーション開発ツール ・構成管理ツール ・デバッグ、シミュレータ等 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 開発手法 ・開発手法の選定 ・開発手法の活用と実践 ・ウォーターフォール型、RAD(Rapid Application Development)型、スバイラル型 ・業務パッケージ固有の開発手法 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 再利用手法 ・ソフトウェア部品の利用 ・先行プロジェクトの成果物利用 ・再利用手法の活用と実践 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | オブジェクト指向開発 ・オブジェクト指向の基本概念 ・UML ・オブジェクト指向開発プロセス ・分析、設計、実装 ・主なオブジェクト指向技術 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | セキュリティシステムの構築、検査 ・セキュリティ製品、ツールの選定、導入 ・セキュリティ機能の開発 ・セキュリティ技術の実装 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 検証技法の活用 ・ウォークスルーとインスペクション | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | プログラム設計 ・開発手法とプラットフォームの選定 ・プログラム設計基準 ・プログラム設計書の作成 ・テスト計画と仕様書の作成 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 外部設計 ・外部設計の手順 ・システム機能設計 ・データモデルの設計 ・外部設計書の作成 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 設計手法 ・オブジェクト指向設計 ・構造化設計 ・データ中心型設計 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 内部設計 ・機能設計 ・インターフェース設計 ・内部データ設計 ・サブコンポーネントの識別、役割定義 ・サブコンポーネント間の関係定義 ・内部設計書の作成 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 監査 ・システム監査の基礎 ・システム監査の計画 ・システム監査の実施と報告 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 技術検証手法の活用と実践 ・プロトタイプ ・シミュレーション | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 技術問題解決手法 ・技術問題解決手法の活用と実践 | | |
| ソフトウェアエンジニアリング | | 標準化 ・開発と取引のプロセスの標準化 ・情報システム基盤の標準化 ・データの標準化 ・標準化組織の把握、活用 | | |

| ITスペシャリスト | 研修コース群 | | 分散システムの構築・デバッグ | セキュリティの構築 |
|-----------|-----------|---|----------------|-----------|
| | 職種共通スキル項目 | 専門分野固有スキル項目 | | |
| | | 知識項目 | | |
| タイムマネジメント | | 作業定義 作業の細分化、詳細化 作業項目リストの作成 WBS更新版の作成 | | |
| タイムマネジメント | | 作業順序設定 PDM(Precedence diagramming method) ADM(Arrow diagramming method) Conditional diagramming method プロジェクトネットワーク図の作成 作業項目リストの作成 | | |
| タイムマネジメント | | 作業所要時間見積 所要時間見積 作業項目リストの作成 | | |
| タイムマネジメント | | スケジュール開拓と管理 数学的分析(Critical Path Method, PERT等) 所要時間の短縮 シミュレーションの実施 プロジェクトマネジメントツールの活用 プロジェクトスケジュールの作成 スケジュールマネジメント計画書の作成 スケジュール変更管理 | | |
| テクノロジー | | アプリケーションセキュリティ アプリケーションセキュリティ機能の設計、開発、導入 | | |
| テクノロジー | | インターネット技術 インターネットの歴史 Webに関する技術 メールに関する技術 暗号化技術 デジタルメディアに関する技術(VoIP, Streaming, QoS など) | | |
| テクノロジー | | コンピュータシステム ハードウェア 基本ソフトウェア システムの構成と方式 システム応用 | | |
| テクノロジー | | コンピュータ科学基礎 情報の基礎理論 データ構造とアルゴリズム | | |
| テクノロジー | | システムの開発、保守 システムのコンポーネントの設計、構築、運用、保守 | | |
| テクノロジー | | システムの開発環境 システム開発手法 言語、ツール、ソフトウェアパッケージの把握と活用 | | |
| テクノロジー | | システムの構成 システムのコンポーネント、組み合わせ、各構成要素の位置づけ システムプラットフォーム技術 オペレーティングシステム技術の活用と実践(メインフレーム、分散機(オフオフ)、Unix, Windows, Linuxなど) | | |
| テクノロジー | | システム管理技術 システム資源監視技術 プロセス監視技術 システムソフトウェアやミドルウェアの管理機能のインタフェース技術 パフォーマンス計測技術 ハードウェアやソフトウェアの構成管理機能 ソフトウェア配布機能 ジョブ管理 遠隔操作機能 アクセス管理 ユーザ管理 リスク管理 ストレージ管理 | | |
| テクノロジー | | システム管理手法 サービス水準管理 問題管理 パフォーマンス、キャパシティ管理 変更管理 容量管理 回復管理 構成管理 運用管理 システム管理ツールの選定、導入 システム管理要件の実現 セキュリティ管理製品の評価、選定 | | |
| テクノロジー | | データベース運用設計 パフォーマンス設計、障害対策 | | |
| テクノロジー | | データベース技術 データベースのモデル データベース言語 データベースの制御 | | |
| テクノロジー | | データベース設計 データモデリング設計 データベース物理設計 | | |
| テクノロジー | | データモデリング データモデリング技術の活用と実践 データモデリングツールの選択と活用 トランザクション処理とDBの同期点の関係 | | |
| テクノロジー | | ネットワーク技術の理解と活用 プロトコルと伝送制御 符号化と伝送 ネットワーク関連法規 ネットワークセキュリティ 通信機能 インターネット ネットワークソフト ATM(Asynchronous Transfer Mode) フレームリレーやLAN, WANなど回線に関する技術 TCP/IP | | |
| テクノロジー | | プラットフォーム技術 ハードウェアアーキテクチャ、ストレージ管理、オペレーティングシステム、通信制御、トランザクション処理、分散処理、並列処理 | | |
| テクノロジー | | プログラミング言語、マークアップランゲージ C, C++, COBOL, Java, UML, HTML, XMLなどの各種言語 表記法の特徴 グラフィカルな開発環境の使用法 | | |
| テクノロジー | | ミドルウェア技術 メッセージング技術、インターネット技術、分散オブジェクト管理、テレメトリサービス、トランザクション処理 | | |
| テクノロジー | | リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 リレーショナルデータベースシステムの基本構造 システムカログの保持機能 関係テーブルの取り出し、格納実行機能 データベース利用要求の解釈機能 データベースのログ機能 データベースバックアップリカバリ機能 インテグリティ確保機能 | | |
| テクノロジー | | 最新IT市場動向 国内外のIT市場規模と動向の把握 アプリケーションに関する技術動向の把握 ビジネス特許に関する技術動向の把握 次世代のビジネスとその発展の把握 | | |
| テクノロジー | | 最新技術動向 最新ハードウェア技術動向の把握 最新ミドルウェア技術動向の把握 最新プラットフォーム技術動向の把握 最新ネットワーク技術動向の把握 最新データベース技術動向の把握 最新セキュリティ技術動向の把握 最新システム管理技術動向の把握 | | |
| デザイン | | データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 データベース、ミドルウェア、分散コンピューティングの選定、機能と制約事項の理解、設計 | | |
| デザイン | | モデリング技術の理解と活用 データモデリング技術の活用と実践 プロセスモデリング技術の活用と実践 パフォーマンスモデリング技術の活用と実践 プロトタイプング技術の活用と実践 ベンチマーキング技術の活用と実践 | | |
| デザイン | | 開発環境設計 開発環境要件の定義 プラットフォーム選定 | | |
| デザイン | | 設計手法 オブジェクト指向設計 構造化設計 データ中心型設計 | | |
| デザイン | | 要件定義 ユーザ要求 プロジェクト範囲 目的の明確化 要件の優先順位付けと関連部門の調整 要件調査の実施 要件の定義 文書化 資源要求の調査 システム化計画の策定 | | |
| ネゴシエーション | | ネゴシエーション 交渉プロセスの把握と実践 効果的な交渉技法の活用と実践 信頼関係の確立 目標の設定 共通利益 論理的思考の実践 問題解決手法の活用と実践 | | |
| リーダーシップ | | リーダーシップの基本や原則の把握と実践 チームワークとコミュニケーションの実践 プロジェクト目標の設定 プロジェクトの推進 プロジェクトの実行 プロジェクトマネジメント チームメンバーの連携 チームメンバーの動機付けと達成感の提供 | | |
| リスクマネジメント | | リスクマネジメント計画策定 | | |
| リスクマネジメント | | リスク識別 資料分析 情報収集技術(ブレインストーミング、インタビュー、SWOT分析)の活用と実践 仮説分析 ダイアログ技術の活用と実践 | | |
| リスクマネジメント | | 定性的リスク分析 リスク発生頻度と損害の大きさによる分析 リスク発生頻度と損害の大きさの評価マトリックスによる分析 | | |
| リスクマネジメント | | 定量的リスク分析 情報収集技術(インタビュー)の活用と実践 重大性分析 ランダムサンプリング分析 シミュレーションの実施 | | |

| ITスペシャリスト | | 研修コース群 | | |
|----------------------------------|----------------|---|--------|------------------|
| 職種共通スキル項目 | 専門分野固有スキル項目 | 知識項目 | 研修コース名 | 分散システムの構築・メンテナンス |
| リスクマネジメント | | リスク対応計画 許容 回避 移転 軽減 受容 | | |
| リスクマネジメント | | リスク監視とリスクコントロール プロジェクトリスク対応監査 定期的なプロジェクトリスク検証 Earned Value分析 | | |
| 業務分析 | | インダストリー知識 インダストリー共通アプリケーションに関する知識の活用 インダストリー固有アプリケーションに関する知識の活用 インダストリービジネス動向、技術動向、競合状況の把握 インダストリー用語、標準化の把握と活用 インダストリー別事業環境の把握と活用 インダストリー別ビジネス慣行の把握と活用 インダストリー固有業務内容の把握と活用 | | |
| 業務分析 | | システム化戦略策定 ユーザのビジョン、ゴール、ビジネス戦略の把握 システム化戦略の策定 業務パッケージを利用したシステム化戦略策定 | | |
| 業務分析 | | システム価値の検証 IT価値の定義 IT価値管理のフレームワーク構築 | | |
| 業務分析 | | 技術要件分析 現状IT環境分析 新規技術要件の把握 ニーズの分析と優先順位付け | | |
| 業務分析 | | 業務要件分析 ユーザニーズの把握 ニーズの分析と優先順位付け | | |
| 業務分析 | | 情報化と経営 情報戦略 企業会計 経営工学 エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用 標準化の理解と遵守 | | |
| 組織マネジメント | | プロジェクト組織計画 人材業務の実践 組織論の実践 | | |
| 組織マネジメント | | 要員調達 要員計画の策定 採用業務の実施 ネゴシエーション 調達 | | |
| 組織マネジメント | | チーム体制化 チーム構成作業の実施 一般的な業務の実施 適材配当の実践 チーム育成 | | |
| 知的資産管理 (Knowledge Management) 活用 | | 知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値、構造化、共有化) 知的資産の活用 知的資産の維持と管理 効果の把握と改善の実施 ビジネスモデル特許 | | |
| 調達マネジメント | | 調達計画 内外製への分析 契約形態の選択 調達計画書の作成 | | |
| 調達マネジメント | | 引合計画と引合 調達文書の作成 評価基準の設定 プロポーザルの受理 | | |
| 調達マネジメント | | 発注先選定 | | |
| 調達マネジメント | | 契約管理 契約業務の理解 契約条件の確認と合意 契約の締結 例外事項の処理 外注とOEM契約業務の理解 標準化の理解と遵守 | | |
| 統合マネジメント | | プロジェクト計画の策定 プロジェクト計画メソッドの活用と実践 プロジェクトマネジメントツールの活用 プロジェクト計画書の策定 | | |
| 統合マネジメント | | プロジェクト計画の実施 一般的な管理スキルの活用と実践 プロジェクトマネジメントツールの活用 承認プロセスの把握 進捗管理会議運営 組織の連携の把握 | | |
| 統合マネジメント | | 統合変更管理 変更管理 構成管理 プロジェクト進捗評価基準の活用と実践 プロジェクト計画書更新版の策定 | | |
| 汎用業務システム構築(人事/会計/総務等) | | 業務連携 業務別事業環境 社会環境の把握と活用 業務別関連法規制の把握と活用 業務別規制状況 慣習の把握と活用 | | |
| 汎用業務システム構築(人事/会計/総務等) | | 汎用業務内容 汎用業務内容、特性の把握と活用 業務別標準技術の把握と活用 | | |
| 品質マネジメント | | 品質計画 ベネフィットコスト分析 ベンチマーキングの実施 フローチャートの活用と実践 品質に関するコスト管理 | | |
| 品質マネジメント | | 品質保証 品質計画 品質予測 品質監査 ツールと技術の活用と実践 | | |
| 品質マネジメント | | 品質コントロール 監査 コントロールチャートの活用と実践 パレート図の活用と実践 統計サンプリングの実施 フローチャートの活用と実践 傾向分析 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | システム化方針、システム要件の把握 システム開発計画、運用管理計画策定 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | システム評価手法 信頼性、サービスレベルの定量的計測法 データ収集、分析、評価 性能チューニング、ベンチマーキング手法 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | テスト技法 テストケース設計 仕様決定 テスト環境設定 管理 テストデータ準備 テストツールの活用 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | パフォーマンス管理、キャパシティ管理 プラットフォームシステム設計手法 最適メソッド選択 適用ガイドラインの作成 標準化 マルチシステム環境における設計手法の活用と実践 信頼性設計手法の活用と実践 拡張性設計手法の活用と実践 プラットフォームアーキテクチャシステム構成の活用と実践 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | プラットフォーム技術 ハードウェア・ネットワーク、ストレージ管理、オペレーティングシステム、通信制御、トランザクション処理、分散処理、並列処理の把握と活用 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | プラットフォーム要件定義 CPU能力の見積 ストレージ容量の見積 伝送量の見積 トランザクション量の見積 レスポンスの見積 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | 資源管理 ハードウェア管理 ソフトウェア管理 データ管理 ネットワーク管理 施設、設備管理 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | 障害対策手法 障害監視、問題判別、影響分析、障害回復、影響分析 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | 製品知識(プラットフォーム) プロセッサ ストレージ装置 印刷装置 オペレーティングシステム データベースシステム トランザクションシステム ミドルウェアの評価と選定 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | 導入、移行計画 導入、移行計画管理 稼働環境設定 システム変更管理 サービスレベル要件の確定 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | 変更管理 変更管理手法の活用と実践 | | |
| システムプラットフォーム構築 | システムプラットフォーム構築 | 問題管理 障害影響度評価分析 障害履歴管理 障害特定 原因診断 障害修復、回避策策定 障害修復、回避作業計画立案 障害修復、回避に伴う調査、現象定義、データ収集、測定の実施 問題管理ツールの活用と実践 マルチベンダまたはマルチプラットフォーム環境における問題特定手法の活用と実践 | | |

| ITスペシャリスト | | 研修コース群 | | |
|-----------|--------------|---|--------|------------------|
| 職種共通スキル項目 | 専門分野固有スキル項目 | 知識項目 | 研修コース名 | 分散システムの構築・メンテナンス |
| | システム運用管理機能構築 | システム運用管理設計 ・キャパシティ管理の適用 ・問題管理の適用 ・変更管理の適用 ・回復管理の適用 ・構成管理の適用 ・インフラ設計 ・エンドユーザ支援設計 ・障害管理の適用 ・災害対策 ・サービスレベル設計 | | |
| | システム運用管理機能構築 | システム運用管理方針 システム運用要件分析 システムコンポーネント別運用管理方針の策定支援 システム運用基準点検 | | |
| | システム運用管理機能構築 | システム管理計画 システム管理要件の定義 システム管理サービスの明確化 サービスに対する費用、対価の算出 運用ルール作成 システム管理計画書の作成 | | |
| | システム運用管理機能構築 | システム保守 システム保守計画の作成 保守業務の実施 | | |
| | システム運用管理機能構築 | セキュリティとプライバシー ・セキュリティ対策（機密保護、改ざん防止対応、不正侵入、コンピュータウイルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング） ・プライバシー保護 ・リスク管理 ・ガイドラインと関連法規 | | |
| | システム運用管理機能構築 | ユーザ対応 ユーザの遵守事項の明確化 ユーザサポート・ユーザ要求への対応 ユーザコンサルティング | | |
| | システム運用管理機能構築 | 運用に関するシステム評価 評価対象、評価項目と評価基準 システム改善提案 分散システムの評価 | | |
| | システム運用管理機能構築 | 資源管理 ・ハードウェア管理 ・ソフトウェア管理 ・データ管理 ・ネットワーク管理 ・施設、設備管理 | | |
| | システム運用管理機能構築 | 障害管理 ・障害の監視 ・障害原因の究明 ・回復処理 ・障害記録 ・再発防止 ・分散システムの障害管理 | | |
| | システム運用管理機能構築 | 新規システム開発とシステム移行 構築計画立案 システム運用方針設計 移行、運用テスト、システム移行、開発環境の管理 | | |
| | システム運用管理機能構築 | 性能管理 ・性能評価 ・キャパシティ管理 ・分散システムの性能管理 ・分散システムにおけるキャパシティ管理 | | |
| | セキュリティ機能構築 | セキュリティシステムの運用管理 ・セキュリティ運用手続きの実施 ・システム動作の監視と記録 ・システム保守 ・ユーザ教育 ・セキュリティ技術者教育 | | |
| | セキュリティ機能構築 | セキュリティシステムの構築、検査 ・セキュリティ製品、ツールの導入、導入 ・セキュリティ機能の検証 ・セキュリティ技術の実装 | | |
| | セキュリティ機能構築 | セキュリティシステムの設計 ・認証と権限のコントロール ・物理セキュリティのコントロール ・論理セキュリティのコントロール ・ネットワーク基盤上データの信頼性確保 ・データの機密保持 ・セキュリティ運用手続きの作成 ・ユーザへの啓蒙 ・教育訓練計画の策定 | | |
| | セキュリティ機能構築 | セキュリティとプライバシー ・セキュリティ対策（機密保護、改ざん防止対応、不正侵入、コンピュータウイルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング） ・プライバシー保護 ・リスク管理 ・ガイドラインと関連法規 | | |
| | セキュリティ機能構築 | セキュリティの見直し 技術情報の収集と評価 運用上の問題点整理と分析 技術上の問題点整理と分析 新たなリスクの整理と分析 セキュリティポリシー更新 | | |
| | セキュリティ機能構築 | セキュリティの分析 ・事故の検知 ・事故の初動処理 ・事故の分析 ・事故からの復旧 ・再発防止策の実施 ・セキュリティ評価の活用と実践 | | |
| | セキュリティ機能構築 | セキュリティ技術動向 ・シングルサインオン技術動向の把握 ・PKI技術動向の把握 ・セキュリティアドミニストレーション技術動向の把握 ・侵入防止技術動向の把握 ・暗号化技術の把握と活用 ・電子署名技術の把握と活用 ・ファイアウォール技術の把握と活用 | | |
| | セキュリティ機能構築 | プライバシーシステムの構築と検査 | | |
| | セキュリティ機能構築 | 企業システムへの脅威 ・脅威の動向と種類の把握と活用 | | |
| | セキュリティ機能構築 | 社会環境 ・関連法規の理解と遵守 ・国際標準と国内標準の把握と活用 ・業界団体のセキュリティ要件、事例の把握と活用 ・事例の把握と活用 | | |
| | データベース構築 | SQL ・データベース言語 ・SQL概要 ・データベース定義 ・データ操作 ・インテグリティ制約 ・トリガーとプロシジャ ・SQL実行のタイプ ・SQLの標準化 | | |
| | データベース構築 | キャパシティ管理 ・キャパシティ管理手法、ツールの活用 | | |
| | データベース構築 | ストレージ管理計画 ・ストレージシステム管理計画の実践 | | |
| | データベース構築 | データベースシステムの運用管理 ・データベースシステムの運用計画 ・データベースシステムの運用、保守 ・データベースシステムの管理 ・性能チューニング、ユーザサポートの活用と実践 | | |
| | データベース構築 | データベースの周辺技術 ・データウェアハウス、オンライン分析処理、データマイニング ・オブジェクト指向とデータベース、インターネットとDBMS | | |
| | データベース構築 | データベースの全体計画 ・全社データベースの計画、データ定義の標準化の活用と実践 ・データベースの要件定義 ・現状調査と課題分析、作業範囲の確定、データベース設計要件定義、データベース運用管理要件定義の活用と実践 | | |
| | データベース構築 | データベースマネジメントシステム(DBMS)の選定 ・データベース製品の評価、選定 | | |
| | データベース構築 | データベースマネジメントシステム(DBMS)の導入 ・データベース製品の導入、設定 | | |
| | データベース構築 | データベースマネジメントシステム(DBMS)への実装とテスト ・データベース定義 ・テーブル定義 ・ビュー定義 ・インデックス定義 ・権限定義 ・データロード、テストと評価 ・マニュアル作成 | | |
| | データベース構築 | データベース開発における重要技術 ・分散データベース ・データベースセキュリティ ・分散コンポーネティングシステム ・DBMS | | |
| | データベース構築 | データベース関連技術動向 ・オブジェクト指向データベース、オブジェクトリレーショナルデータベース、ERPとデータベース、SCMとデータベース、CRMとデータベース、ECとデータベースの把握と活用 | | |
| | データベース構築 | データベース構築 ・データベース構築の実践 | | |
| | データベース構築 | データベース設計の準備 ・データモデルの分類、RDBMSの機能、システムカタログ、権限管理システム、情報資源管理、リポソリの把握と活用 | | |
| | データベース構築 | データ構造設計手法 ・ERモデルの活用と実践 | | |
| | データベース構築 | リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 ・リレーショナルデータベースシステムの基本構造 ・システムカタログの保持機能 ・関係テーブルの取り出し、格納実行機能 ・データベース利用要求の解釈機能 ・データベースのログ機能 ・データベースバックアップ機能 ・インテグリティ確保機能 | | |
| | データベース構築 | 関係モデル ・関係モデリング技術、関係モデルの要素、インテグリティルール、正規化、関係モデルにおける関係、データ操作、ビュー、RDBMS実装ルール把握と活用 | | |
| | データベース構築 | リレーショナルデータベース利用の概要 RDBシステムの基本構造、RDBシステム構築の関係者とその役割の把握、活用 | | |

| ITスペシャリスト | | 研修コース群 | | |
|-----------|-------------------|--|--------|------------------------|
| 職種共通スキル項目 | 専門分野固有スキル項目 | 知識項目 | 研修コース名 | 分散システムの構築 セキュリティの構築 |
| | データベース構築 | 物理データベースの設計 物理環境の確認 トランザクション分析 データベース設計要件定義 DBMS機能と制約 アーキテクチャ設計 ターゲットDBMSへの変換、ロック、性能調整 セキュリティ設計 クラスノード、分散リレーショナルデータベースアーキテクチャ、レプリケーション | | |
| | データベース構築 | 論理データモデルの作成 テーブル定義、インデックス設計、ビュー設計、正規化、インテグリティ制約 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワークシステムの運用、保守、管理 ユーザ対応 保守、更新の方針と計画作成 保守、更新の実施 バックアップとデータ回復 ネットワークシステム構成管理 ネットワークシステムの監視 システムの性能分析 セキュリティ侵害の分析と対応 障害の分析 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワークシステムの技術動向 大規模系ネットワークキリング(ブロードバンド、光ネットワーク、電話用ケーブル、無線ネットワーク、基幹網)技術動向の把握 高速LAN(DQDB、ギガビットイーサネット)技術動向の把握 通信サービス(ギガビットイーサネット、常時接続サービス、地域IP網)技術動向の把握 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワークシステムの構築とテスト 導入作業、テストと評価 移行作業 ネットワークセキュリティ構築 不正侵入、ファイル改ざん検知、分析、対応 ネットワーク検証ツールの活用 問題判別、トラブル解決手法の活用と実践 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワークシステムの構築技術 ネットワークプロトコル、電気通信サービス、ネットワーク機器と装置、ネットワークサービス、イントラネットやエクストラネット | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワークシステムの評価 モニタリング手法の活用と実践 トラフィック計測と分析 シミュレーション手法の活用と実践 性能解析手法の活用と実践 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワークシステムの要件定義 アプリケーションの要件分析 現行ネットワークシステムの分析 作業範囲の確定 ネットワークシステム要件の定義 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワークモデリング技法 レイヤ定義 プロトコル定義 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワーク技術動向 最新インターネット技術動向の把握 最新イントラネット技術動向の把握 最新ネットワーク戦略動向の把握 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワーク構築 ネットワーク構築の実践 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワーク製造知識 ネットワーク製造知識の活用 | | |
| | ネットワーク構築 | ネットワーク標準 ネットワーク標準の把握、適用 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | アプリケーション実方式 Wtアプリケーション方式、分散コンピューティング方式の把握と活用 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | サーバ技術 -HITサーバ、アプリケーションサーバ、負分散サーバ技術の把握と活用 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | サーバ配置手法 サーバ配置手法の活用と実践 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | セキュリティシステムの構築、検査 セキュリティ製品、ツールの選定、導入 セキュリティ権限の開放 セキュリティ技術の実装 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | セキュリティ技術動向 シングルサインオン技術動向の把握 PKI技術動向の把握 セキュリティアーキテクチャ技術動向の把握 侵入防止技術動向の把握 暗号化技術の把握と活用 電子署名技術の把握と活用 ファイアウォール技術の把握と活用 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | データベース開発における重要技術 分散データベース データベースセキュリティ 分散コンピューティングシステム DBMS | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | データ配置手法 データ配置手法の活用と実践 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | ネットワーク技術の理解と活用 プロトコルと伝送制御 符号化と伝送 ネットワーク関連法規 ネットワークセキュリティ 通信機器 インターネット ネットワークソフト 回線に関する技術(ATM、フレームリレーやLAN、WANなど) TCP/IP | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | プロトコル プロトコル技術の活用と実践 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | ミドルウェア技術 -メッセージング技術、インターネット技術、分散オブジェクト管理、ディレクトリサービス、トランザクション処理 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | ユーザインタフェース技術 Wtブラウザ技術の理解と活用 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | 性能評価手法 -パフォーマンス監視手法の活用と実践 性能解析、チューニング手法の活用と実践 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | 負分散と可用性 負分散(ハードウェア、ソフトウェア)、クローン、クラスタリング、ネットワークの二重化 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | 分散アプリケーション設計 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | 分散コンピューティングシステムの設計 | | |
| | 分散コンピューティングシステム構築 | 分散コンピューティング開発環境 分散コンピューティング開発ツールの活用と実践 -サプレット、JSP、JavaBean等の分散コンピューティング開発環境、標準、ツールの活用と実践 開発ツールの活用と実践 -アプリケーション開発工程、特性の把握と活用 | | |

| ITスペシャリスト | 職種共通スキル項目 | 専門分野固有スキル項目 | 研修コース群 | | システム運用 / 保守 | | システム設計 / 設計 | | システム構築 / 構築 | | システム運用 / 保守 | | システム設計 / 設計 | | システム構築 / 構築 | | システム運用 / 保守 | | システム設計 / 設計 | | システム構築 / 構築 | | システム運用 / 保守 | | | |
|-----------|-----------|-------------|--|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|
| | | | 研修コース名 | 知識項目 | システム運用 / 保守 | システム設計 / 設計 | システム構築 / 構築 | システム運用 / 保守 | システム設計 / 設計 | システム構築 / 構築 | システム運用 / 保守 | システム設計 / 設計 | システム構築 / 構築 | システム運用 / 保守 | システム設計 / 設計 | システム構築 / 構築 | システム運用 / 保守 | システム設計 / 設計 | システム構築 / 構築 | システム運用 / 保守 | システム設計 / 設計 | システム構築 / 構築 | システム運用 / 保守 | システム設計 / 設計 | システム構築 / 構築 | |
| | | | インダストリー知識 インダストリー共通アプリケーションに関する知識の活用 インダストリー固有アプリケーションに関する知識の活用 インダストリービジネス動向、技術動向、競合状況の把握 インダストリー用語、関連法規の把握と活用 インダストリー別事業環境の把握と活用 インダストリー別ビジネス慣行の把握と活用 インダストリー固有業務内容の把握と活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | インダストリー固有業務システム構築 インダストリー共通アプリケーションに関する知識の活用 インダストリー固有アプリケーションに関する知識の活用 インダストリービジネス動向、技術動向、競合状況の把握 インダストリー用語、関連法規の把握と活用 インダストリー別事業環境の把握と活用 インダストリー別ビジネス慣行の把握と活用 インダストリー固有業務内容の把握と活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | インダストリー固有業務システム構築 業務パッケージ内容、業務パッケージの特性の把握と活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 業務分析 情報化と経営 情報戦略 企業会計 経営工学 エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における構想システムの活用 関連法規の理解と遵守 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コストマネジメント 資源計画 資源計画の検討と策定 代価率の定義 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コストマネジメント コスト見積 トップダウンコスト見積の実施 ボトムアップコスト見積の実施 見積ツールの活用と実践 コスト見積方法論の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コストマネジメント 予算設定 予算設定ツールと技術の活用と実践 コストベースラインの作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コストマネジメント コストコントロール コスト変更管理の実施 進捗状況評価基準の把握、実践 EVM(Earned value management)の活用と実践 コストコントロールツールの活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コミュニケーション コミュニケーション(2Way) 対話およびインタビューの実施 意思疎通 コミュニケーション手法の活用と実践 効果的な話し方、聞き方の実践 コミュニケーション(情報伝達) プレゼンテーション技術の活用と実践 公式および非公式文書の作成 文書表現および表現力の活用と実践 メディア選択 録音録画の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コミュニケーション コミュニケーション(情報処理) 状況対応能力の育成、実践 状況理解力の活用と実践 ミーティング運営技術の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コミュニケーションマネジメント コミュニケーション計画 コミュニケーション要件の把握 コミュニケーション技術の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コミュニケーションマネジメント コミュニケーションスキルの活用と実践 情報配布方法論の活用と実践 実践報告 進捗検証 予算分析 傾向分析 Earned Value分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コミュニケーションマネジメント プロジェクト完了手続 プロジェクト実績報告 プロジェクト報告書の作成 プロジェクトプレゼンテーションの実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コンサルティングの実施 コンサルティング技術の活用 仮説設定 データ収集 インタビューの実施 セッションの運営 データ分析 検証 コミュニケーションとネゴシエーションの実施 報告書の作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コンサルティングの実施 顧客リレーションの確立、維持 コンサルティングメソッドの選択と活用 コンサルティングメソッドの比較と分析 コンサルティングメソッドの選定と適用 プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成 コンサルティング技術の適用 分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | コンサルティングメソッドの活用 プロジェクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル 経験カーブ SWOT分析 7Sモデル マイケル・ポーターの5 Forcesモデル バリューチェーン分析 その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | スコープマネジメント プロジェクト開始 プロジェクト憲章の策定 プロジェクトマネージャの選定と任命 制約条件、前提条件の把握 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | スコープマネジメント スコープ計画 スコープ記述書の策定 スコープマネジメント計画書の策定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | スコープマネジメント スコープ定義 WBSの作成 スコープ記述書更新版の策定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | スコープマネジメント スコープ検証 スコープ変更管理 スコープ変更 ベースライン文書の改訂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング セキュリティとプライバシー セキュリティ対策(機密保護、改ざん防止対応、不正侵入、コンピュータウイルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング) プライバシー保護 リスク管理 ガイドラインと関連法規 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング テスト技法 テストケース設計 仕様決定 テスト環境設定 管理 テストデータ準備 テストツールの活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング プロトタイプ技術 各種プログラミング言語技術の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 開発支援ツール 開発環境 各種アプリケーション開発ツール 構成管理ツール デバッグ、シミュレータ等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 開発手法 開発手法の選定 開発手法の活用と実践 ウォーターフォール型、RAD(Rapid Application Development)型、スバイル型 業務パッケージ固有の開発手法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 再利用手法 ソフトウェア部品の利用 先行プロジェクトの成果物利用 再利用手法の活用と実践 オブジェクト指向開発 オブジェクト指向の基本概念 UML オブジェクト指向開発プロセス 分析、設計、実装 主なオブジェクト指向技術 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング セキュリティシステムの構築、検査 セキュリティ製品、ツールの選定、導入 セキュリティ機能の開発 セキュリティ技術の実装 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 検証技法の活用 ウォークスルーとインスペクション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング プログラム設計 開発手法とプラットフォームの選定 プログラム設計基準 プログラム設計書の作成 テスト計画と仕様書の作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 外部設計 外部設計の手順 システム機能設計 データモデルの設計 外部設計書の作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 設計手法 オブジェクト指向設計 構造化設計 データ中心型設計 内部設計 機能設計 インターフェース設計 内部データ設計 サブコンポーネントの識別、役割定義 サブコンポーネント間の関係定義 内部設計書の作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 監査 システム監査の基礎 システム監査の計画 システム監査の実施と報告 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 技術検証手法の活用と実践 プロトタイプ シミュレーション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 技術問題解決手法 技術問題解決手法の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ソフトウェアエンジニアリング 標準化 開発と取引のプロセスの標準化 情報システム基盤の標準化 データの標準化 標準化組織の把握、活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| ITスペシャリスト | 職種共通スキル項目 | 専門分野固有スキル項目 | 研修コース群 | | システム運用 / 保守 | | システム設計 / 構築 | | システム構築 / 運用 | | システム運用 / 保守 / 構築 | | システム運用 / 保守 / 構築 | | システム運用 / 保守 / 構築 | | システム運用 / 保守 / 構築 | | システム運用 / 保守 / 構築 | | |
|----------------------------------|-----------|-------------|---|------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | | | 知識項目 | 実践項目 | システム運用 / 保守 | システム設計 / 構築 | システム構築 / 運用 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 | システム運用 / 保守 / 構築 |
| リスクマネジメント | | | リスク対応計画 ・許容 ・回避 ・移転 ・軽減 ・受容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リスクマネジメント | | | リスク監視とリスクコントロール ・プロジェクトリスク対応計画 ・定期的なプロジェクトリスク検証 ・Earned Value分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務分析 | | | インダストリー知識 ・インダストリー共通アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリー固有アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリービジネス動向、技術動向、競合状況の把握 ・インダストリー用語、標準法規の把握と活用 ・インダストリー別事業環境の把握と活用 ・インダストリー別ビジネス慣行の把握と活用 ・インダストリー固有業務内容の把握と活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務分析 | | | システム化戦略策定 ・ユーザのビジネス、ゴール、ビジネス戦略の把握 ・システム化戦略の策定 ・業務パッケージを利用したシステム化戦略策定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務分析 | | | システム価値の検証 ・IT価値の定義 ・IT価値管理のフレームワーク構築 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務分析 | | | 技術要件分析 ・現行IT環境分析 ・新規技術要件の把握 ・ニーズの分析と優先順位付け | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務分析 | | | 業務要件分析 ・ユーザニーズの把握 ・ニーズの分析と優先順位付け | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務分析 | | | 情報化と経営 ・情報戦略 ・企業会計 ・経営工学 ・エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用 ・標準法規の理解と遵守 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 組織マネジメント | | | プロジェクト組織計画 ・人材業務の実践 ・組織論の実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 組織マネジメント | | | 要員調達 ・要員計画の策定 ・採用業務の実施 ・ネゴシエーション ・調達 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 組織マネジメント | | | チーム体制化 ・チーム構成作業の実施 ・一般的な業務の実施 ・適材配属の実践 ・チーム育成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 知的資産管理 (Knowledge Management) 活用 | | | 知的資産の管理と活用 ・知的資産のデータベース化(付加価値、構造化、共有化) ・知的資産の活用 ・知的資産の維持と管理 ・効果の把握と改善の実施 ・ビジネスモデル特許 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調達マネジメント | | | 調達計画 ・内製外製の分析 ・契約形態の選択 ・調達計画書の作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調達マネジメント | | | 引合計画と引合 ・調達文書の作成 ・評価基準の設定 ・プロポーザルの受理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調達マネジメント | | | 発注先選定 ・契約管理 ・契約業務の理解 ・契約条件の確認と合意 ・契約の締結 ・例外事項の処理 ・外注とOEM契約業務の理解 ・標準法規の理解と遵守 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 統合マネジメント | | | プロジェクト計画の策定 ・プロジェクト計画の活用と実践 ・プロジェクトマネジメントツールの活用 ・プロジェクト計画書の策定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 統合マネジメント | | | プロジェクト計画の実施 ・一般的な管理スキルの活用と実践 ・プロジェクトマネジメントツールの活用 ・承認プロセスの把握 ・進捗管理会議運営 ・組織の連携の把握 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 統合マネジメント | | | 統合変更管理 ・変更管理 ・構成管理 ・プロジェクト進捗評価基準の活用と実践 ・プロジェクト計画更新版の策定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汎用業務システム構築(人事/会計/総務等) | | | 業務連携 ・業務別事業環境 ・社会環境の把握と活用 ・業務別標準法規の把握と活用 ・業務別規制状況 ・慣習の把握と活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汎用業務システム構築(人事/会計/総務等) | | | 汎用業務内容 ・汎用業務内容、特性の把握と活用 ・業務別標準技術の把握と活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品質マネジメント | | | 品質計画 ・ベネフィットコスト分析 ・ベンチマーキングの実施 ・フローチャートの活用と実践 ・品質に関するコスト管理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品質マネジメント | | | 品質保証 ・品質計画 ・品質管理 ・品質監査 ・ツールと技術の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品質マネジメント | | | 品質コントロール ・監査 ・コントロールチャートの活用と実践 ・パレート図の活用と実践 ・統計サンプリングの実施 ・フローチャートの活用と実践 ・傾向分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | システム化計画 ・システム化方針、システム要件の把握 ・システム開発計画、運用管理計画策定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | システム評価手法 ・信頼性、サービスマーケティングの定量的計測法 ・データ収集、分析、評価 ・性能チューニング、ベンチマーキング手法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | テスト技法 ・テストケース設計 ・仕様決定 ・テスト環境設定 ・管理 ・テストデータ準備 ・テストツールの活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | パフォーマンス管理、キャパシティ管理 プラットフォームシステム設計手法 ・最適ロード選択 ・適用ガイドの作成 ・標準化 ・マルチシステム環境における設計手法の活用と実践 ・信頼性設計手法の活用と実践 ・拡張性設計手法の活用と実践 ・プラットフォームアーキテクチャシステム構成の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | プラットフォーム技術 ・ハードウェアアーキテクチャ、ストレージ管理、オペレーティングシステム、通信制御、トランザクション処理、分散処理、並列処理の把握と活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | プラットフォーム要件定義 ・CPU能力の見積 ・ストレージ容量の見積 ・伝送量の見積 ・トランザクション量の見積 ・レスポンスの見積 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | 資源管理 ・ハードウェア管理 ・ソフトウェア管理 ・データ管理 ・ネットワーク管理 ・施設、設備管理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | 障害対策手法 ・障害監視、問題判別、影響分析、障害回復、影響分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | 製品知識(プラットフォーム) ・プロセッサ ・ストレージ装置 ・印刷装置 ・オペレーティングシステム ・データベースシステム ・トランザクションシステム ・ミドルウェアの評価と選定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | 導入、移行計画 ・移行計画管理 ・稼働環境設定 ・システム変更管理 ・サービスマーケティング要件の策定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | 変更管理 ・変更管理手法の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システムプラットフォーム構築 | | | 問題管理 ・障害影響度評価分析 ・障害履歴管理 ・障害特定 ・原因診断 ・障害修復、回避策策定 ・障害修復、回避作業計画立案 ・障害修復、回避に伴う調査、現象定義、データ収集、測定の実施 ・問題管理ツールの活用と実践 ・マルチベンダまたはマルチプラットフォーム環境における問題特定手法の活用と実践 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

